

広報

かじかがわ

1
2026

No.1026



これから
の
加古川駅周辺

新春特集

座談会

これからの

市の重点施策の一つである
JR加古川駅周辺の再整備。
昨年開催したシンポジウムや
社会実験に参加した皆さんと一緒に、
駅周辺のまちづくりについて話しました。



再整備に向けて

市長 昨年は権現総合公園や日岡山公園のニュースポーツゾーンがオープンし、屋外で楽しめる場が増えました。

再整備に向けて

市長 昨年は権現総合公園や日岡山公園のニュースポーツゾーンがオープンし、屋外で楽しめる場が増えました。

にぎわいづくりでは、河川敷でのかわまちづくりと共にJR加古川駅周辺の再整備を進めています。昨年8月に基本方針を策定しました。今年は令和9年度に向け基本計画を仕上げていきます。

議長 駅前の再整備は大きな投資が必要ですので、議会では年間を通じた調査テーマとして、

議論を深めながら市民の代表とい
う立場で要望をしつかりと伝えて
いきます。

市長 昨年は駅前の公共空間を利
活用する社会実験をしました。イベ
ントを開催したり、ストリートファ
ニチャードを設置したりし、人の流れ
や集まり方、利用の状況などを確
かめました。

皆さん、駅周辺との関わり方や
イベントなどへの参加について、教
えてください。

大塚 加古川に移住してきたのが
コロナ禍の直前で、何もできないま
ま3、4年が過ぎやっと自由になつ

阪口 僕は「みんなでいろんなことをつくっていく」というのをテーマに活動しています。イベントを企画していく感じですが、駅前を使いたい人やプレーヤー(運営者・出演者)

阪口 僕は「みんなでいろんな」と「をつくつしていく」というのをテーマに活動しています。イベントを企画していく感じますが、駅前を使いたい人やプレーヤー（運営者・出演者など）がとても多いんですよ。

市長 さまざまなイベントが盛り上がりっていますね。駅前や河川敷の社会実験を通して、市民の皆さんの中に多くのプレーヤーがいらっしゃることが分かりました。

長瀬 私の大学でも加古川出身の学生が多いんですが、大阪や神戸で思い出をつくる

長瀬 私の大学でも加古川出身の学生が多いんですが、大阪や神戸とは違う、加古川のキャラクターを感じます。すごく元気で、でもちゃんと真面目にやる一面性があります。「かこがわっこ」とでもいいましょうか。

でも潜在的に少し遠慮がちなのでしょう。社会実験は「かこがわっこ」たちの背中を押すにはとてもいいタイミングだったと思います。彼

寄り道できるまちで
思い出をつくる

石井 私は高砂市在住で、自転車で駅周辺を通りながら高校へ通っています。かわのまちマーケットにボランティアで参加し、スタッフ・運営メンバーとして出店者やスタッフの皆さんと交流し、いろいろな体

までならできる」ということを確かめる目的もあります。

社会実験

ストリートファニチャーの設置

くつろぎ空間をつくる目的で、JR加古川駅南広場やペルデモール商店街にベンチやテーブルなどを設置。木材は地元の工務店が協力し、ベンチ作りワークショップを行うなど製作過程にも人々が関わる仕組みを考えました。



